

13

マレーシア/クチン

総面積: 4,195km² / 人口: 684,900人 /
人口密度: 163.27人 / km²



都市の現状

クチンは、ボルネオ島北西部、南シナ海に面しサラワク川の河口に位置するサラワク州の州都である。古くから南シナ海航路の要衝であったクチンは、サラワクの首都として発展し、現在でもコロニアル調やマレー風の建物が立ち並んでいる。

スマートシティ行動計画

ビジョン：クチンは、デジタル変革及びサラワクデジタル経済戦略2018-2022を通じて生活の質の向上及びスマートシティとしての地位獲得を目指している。(https://www.sma.gov.my/page-0-0-16-Smart-City.htmlを参照)

重点分野：モビリティ、都市の強靱性

Project 1：スマートモビリティー 総合スマート交通信号システム

- ・デジタル技術を使用して交通の流れをスマート管理することにより、市内の交通渋滞を緩和
- ・市内すべての主要道路と信号機付交差点を対象とするようプロジェクトを拡大し、交通信号の同期を向上することにより交通の流れを調整し、「リアルタイム」の交通情報を提供する計画

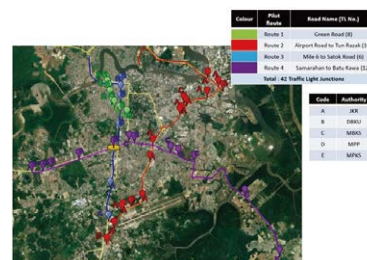
Project 2：総合洪水管理・対応システム

- ・洪水の発生を対応チームや災害委員会に効果的に警告し、人と財産の安全性を確保する。
- ・洪水が発生しやすい地域における鉄砲水や浸水に対し、効率的な監視及び対応システムを確立する。

取組み状況

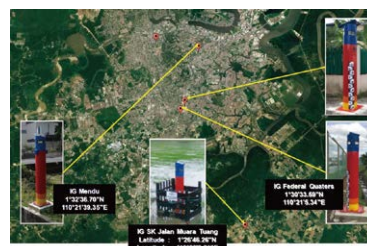
Project 1

- 現在の取組み
 - ・スマートモビリティの第1期は、42カ所の交差点を対象に、2019年9月より導入を開始し、2020年8月に完了予定
- 今後の取組み
 - ・今後の計画では、2021年までにクチン市のより広域な範囲にわたり、100カ所以上の交差点に追加導入する予定
- プロジェクトの課題または懸念
 - ・現時点で、導入に向けた課題はない。



Project 2

- 現在の取組み
 - ・プロジェクトは現在まだ提案段階であり、プロジェクトの実現は、資金の調達次第である。
- 今後の取組み
 - ・第1期の計画案では、まずクチン市内に集中して導入する予定であり、将来の資金調達次第では、他の都市や街(例: ミリ、シブなど)へプロジェクトの対象地域を拡大する。
- プロジェクトの課題または懸念
 - ・関係当局の承認を要する浸水検知装置の戦略的な設置場所の選定



スマートシティ最高責任者

Mr. Tan Chee Kang / マレーシア、サラワク州クチン市デジタル経済部門長、アシスタントジェネラルマネージャー / Email : cktan@sma.gov.my